



Vol.59

●特集●

不登校・居場所づくりを考える・・1~2

学校へ行かない選択

<日本親子コーチング協会

マスターインストラクター> 飯村康子

子どもの居場所づくりを地域で 森田多美子

シリーズ 内向タイプという生き方 ・・・3

「受け入れる」ということ

県立高校教諭 森 俊博

ココロノアリカ vol.31 ・・・・・・・・4

「個人のパーソナリティを表す言葉」

水戸南高等学校 定時制同窓会会长 宮田 哲郎

The anger management is not working.

茨城大学 金丸 隆太 ・・・・・・・・5

トイレトレーニング ・・・・・・・・6

ほっと!HOT!スクウェア「イクメン講座」より

大内 清志

よしこの世界一周大冒険シリーズ ・・・7
「プチ移住に行ってきます!」 杉野 美子

絵本の紹介・読み聞かせグループ紹介 ・・・8

<絵本> 図書館司書すんちゃん

「わにわにのおでかけ」「なつのおとすれ」

「なつのいちにち」

<ガブの会読み聞かせ会のお知らせ>

水戸子どもの劇場より ・・・・・・・・9

毎月の活動紹介 参加者募集

その他のお知らせ ・・・・・・・・10~11

事務所MAP 訪問型病児保育のご案内 広告

発行：認定NPO法人 水戸子どもの劇場

〒310-0912 茨城県水戸市見川2-82-11

TEL/FAX 029-255-0908

E-mail gekijo310@citrus.ocn.ne.jp

URL http://mito-kodomo.securesite.jp

LINE メルマガも発行しています。



学校へ行かない選択

飯村康子 日本親子コーチング協会認定インストラクター
コーチ・HSP カウンセラー

学校へ行かない選択をする子がいる。

私は、教育関係の方数人に「学校へ行かないのは何故だかわかりますか?」と聞いたことがある。もちろん理由なんていろいろあるだろうけど、明確に答えられる人なんていない。私達は、そのことに気が付かなければいけないと思う。

つまり、分からぬのだ。

“分からぬ”という答えがあるということだ。本人でさえ、分からぬ。

教室に入れない、人の目が気になって(怖くて)仕方ない。朝がどうしても起きられない、頭が痛い、お腹が痛い。そんなことを伝えてくれるのが精一杯だったりする。

しかし大人は、明確な理由を知りたがり、解決(大人の正解)したくなる。でも、答えは分からぬ。それでいい。

問題は、行かない理由を知る事じやないはずだ。大切なのは、その子にとってのこれからと一緒に考えることだと思う。『どうなりたいのか?』だ。

だからといって、「どうしたいの?」とか、「どうなりたいの?」と聞いても、心にゆとりのない状態で答えることなんてできないし、考えることもできないだろう。

だからね、一番必要なことは安心安全な居場所を作ることだ。居場所とは、単純に物理的なことだけではない。安心はほんのりあたたかいということ。

安全は大丈夫と思えることだ。

学校へ行かない選択をしている子が、例え不安そうにしていたり、ふさぎ込んでいたりしたら、例えば反抗的だったとしても、何かを問う前に、生まれてきた時の喜びとぬくもりを思い出し、ハグをするか、背中に手を当てるでもいい、あたたかな温もりとともに『どんなあなたでも大丈夫、あなたがここにいてくれることが最高の喜びで幸せなんだ』と伝えてほしい。

子供達は、どんな子もちゃんと今を生きる力を持っている。これから未来を作る力も持っている。子供達も私達もこれでいいのかと迷ったり、しんどいから休みたいと感じたり、頑張りすぎて身体がSOS信号を出したりするものだ。

もし、沈んだ気持ちで学校へ行かない選択をしている子がいたら、「大丈夫だよ。ゆっくり休んだら、必ず元気になる日が来るから、そしたら一緒に考えよう。今は休む時。それでいいんだよ。」と受け止めてほしい。ちゃんと自分で道を切り開き歩んでいけると信じてほしい。少し時間が必要な子もいるかもしれません。

でもね、どんな子も絶対に、絶対に大丈夫なんだ! 90歳まで生きた時、今、この時間は一瞬の出来事なんだから…。

今という時間を幸せに過ごそう。未来の幸せはその積み重ねにあるものだから…。



<いばらき 不登校・多様な学び育ち 応援サイト> 不登校・多様な学びネットワーク 茨城
木村理恵

「不登校は無理に学校へ行かせず休ませましょう」が通説とはいえ、他者との間で自分を築いていく思春期に、我が子が学校へ行かないのはとても不安ですね。心は日々グラグラ。まるで学校へ行かない自分でも愛してくれる?と試されているようで、見守る親は相当の覚悟が必要になるかもしれません。どうか周囲の方は「大丈夫!」で親御さんの不安な気持ちに蓋をせず寄り添ってもらえたらと思います。そのままの気持ちを聴いてもらえたなら、押しつぶされそうな心も少し軽くなるかもしれません。あなたが自分だけでは抱えきれないしんどさを味わっている時に望むのと同じように。

今、家で過ごしているあなたへ。

あなたの周りには、あなたが豊かに生きていく助けになるたくさんの資源があります。
今はまだ世界は怖かったりするかもしれないけれど、自分が喜ぶ事をたくさんして少し元気になったら手を伸ばしてみてほしい。あなたの心が躍るのを、胸がぎゅっとなるのを、ともに喜び悲しんでくれる仲間や大人が待っているから。

茨城県内にもたくさんの相談先や居場所があります。気が向いたらちょっと覗いてもらえると嬉しいです。



いばらき 多様な学び・育ち応援サイト

茨城県内の不登校支援情報を集約した、不登校にまつわるテーマのもと手をつなぎ
ネットワーク「不登校・多様なまなびネットワーク」が作っているサイト

子どもの居場所づくりを地域で

森田多美子

水戸子どもの劇場では様々な子どもの活動や子育て支援の活動を実施しています。昨年度一年間の活動実施回数は、約1,260回でした。そこに参加した人数は延べ25,000人です。

子どもの劇場内で子ども・子育ての事を考え、話される中で、今、子どもの不登校の事で困っている人達がたくさんいるという事があげられます。理由はそれぞれですが、コロナの影響も少なからずあります。学校には行けない。しかし、他に行く所がない。

そこで、私たちに出来る事はないか考えています。フリースクールや居場所作りなど方法は様々ありますが、場所を開けておいて自由に行けて、何かをやらされるのではなく、安心して過ごせる場が作れないかと模索中です。

放課後子ども教室をこれまで12年間やらせて頂き、子ども達と色々な活動、居場所作りを経験してきました。研修も毎年実施してきました。経験豊富な人材も沢山います。そのノウハウを活かし居心地の良い居場所作りを考えていきたいと思っています。

子どもが子どもらしく安心して過ごせ、そこにいる仲間や大人との関りで自ら何かを発信できる場にしたいと考えています。

すずきゅうくん

僕は中学3年生。中学1年生の時から、学校には行っていません。

ですが、色々な居場所やフリースクールに通うようになりました。今回はそのうちの一つのフリースクール「みとなんでもクラブ(仮)」について紹介します。

みとなんでもクラブ(仮)は水戸のまちなか・泉町にあるフリースペース「マチノイズミ」で開催しているフリースクール。いつもだいたい10人くらいで活動しています。主に小学生が多いです。人が決めたスケジュールやプログラムは無く、何をするかは子どもたちの自由。普段は小さな雑居ビルの1階にあるフリースペース・マチノイズミの中でゲーム、読書、お絵描き、卓球などをしながらのんびり自由に過ごしています。マチノイズミにはボードゲームや本、小さなキッチンくらいしかありません。ですが、まちじゅうが学びの場になります。駄菓子屋、京成百貨店、水戸駅などに買い物に出かけたり、千波湖に行ったり、芸術館の広場でみんなで鬼ごっこをしたり…。芸術館はもはや校庭になってしまいます(笑)。いわゆる「勉強」の時間はほとんどありませんが(子どもたちの要望があれば教えてもらえます)子どもたちはバスを使って来るようになったり、買い物をするようになったことで、計算や日々の生活に繋がることを自然に学んでいます。もちろん教科書の勉強みたいなのも大事なのかもしれませんけど、実際こういう実体験から学ぶことはあまり学校では出来ないし、とても素晴らしいことだと思います。ちなみに子どもたちは小学生が多いので、中学3年の僕はほぼスタッフのような感じになってます(笑)。なんでもクラブの子どもたちと関わるようになって、自分でもこういう場所を開催したいと思うようになりました。今後はこのような場所が増えることによって、子どもたちが色々な選択肢を選べるようになったらいいなと思います。



ちょっとひと言 志学塾 佐藤誠二

今の学校は、私たちの頃に比べて大きなストレスがかかる環境です。ですので学校に行けなくても、それはお子さんにもご家庭にも責任はありません。勉強はメンタルが9割です。

心が安定すればいつからでも十分学ぶことができますし、機会も多くあります。

まず、折れた心を癒してください。もし、勉強の不安があるのならいつでもご相談ください。保護者の方の不安が軽くなるだけでも、お子さんの心も軽くなります。

●問い合わせ 水戸子どもの劇場または志学塾サード(佐藤)

シリーズ 内向タイプという生き方
「受け入れる」ということ
県立高校非常勤講師 森俊博

俳優のWが亡くなった。自殺だった。小生と同じ小中の同学年だった。彼の家は商店街の中にある写真屋で、今でも彼の母親(もう90歳を越えているはずだ)は看板娘として店頭で人とよくおしゃべりしている。それなのに、自分より先に息子を失うというのは返す返すも気の毒である。

我々の還暦の年、学年同窓会が開催され、彼も同世代の出世頭として華々しく会場に登場した。女の子たち(今ではおばあさんだが)は、彼の周りに集まって写真を撮ったり、話しかけたりして大喜びだった。最後には、彼が指揮をして校歌をみんなで歌つたのも記憶に新しい。

そんな彼が亡くなったと知って、さぞかし同級生たちはショックだったに違いない。突然のことであんな信じられなかっただろう。そして、自殺の原因をあれこれと詮索したはずだ。小生も、テレビのワイドショーやネットなどで見かける報道をチラチラ見ながら、どうやら老化による気力体力の衰えに悲観していたらしいことを知り、納得できる部分が多くあった。

「ファイト一発！」は彼のトレードマークとして浸透していた。同窓会での彼の若々しさは抜きん出していた。俳優としてそのようなイメージを維持するため、日々トレーニングにも励んでいたのだろう。しかし寄る年波にはかなわない。

同年齢として、小生も体の衰えを感じることが多くなった。健康診断で初めて聴覚の衰えを知らされたときは信じられなかった。視力も衰え、白内障や緑内障となるべく先延ばしにするべく日々の点眼は欠かせない。狭心症の予後の服薬もあり、いわゆる薬漬け状態である。最近は腰痛が座骨神経痛に広がり、頸椎ヘルニアによる首や肩の凝りも不快である。

年を重ねるということは、このような自分の衰えに向き合うことであり、それを受け入れることでもある。死を前にした人の心理状態を考察した心理学者も、自分の死に際してはそれを受け入れるのが大変だったという話を聞く。衰えるということは怖いものである。受け入れたくないものである。若いふりをしたり、頑張りすぎたり、しばらくは受け入れを拒否したくなる。若かった頃を懐かしみ、過去の栄光を思い出し、現状変更を試みようとするのは、ロシアの大統領ばかりではない。

現実を受け入れることができるようになるまでは、散々悲しんだりそれが反転して他者を攻撃したりと一騒動を引き起こすことも希ではない。自殺も

他国への侵攻も、攻撃対象が自分か他者かの違いだけで、現実を受け入れたくない足搔き苦しむ点では根が同じではないだろうか。

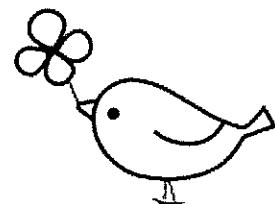
前に、ここで中島敦の『山月記』の主人公李徵について言及し、彼も現実を受け入れられなかつたために、虎になるという形で現実から逃避したのだという読み方を提示したことがあった。彼は学業成績優秀で進士の試験にも合格できたのだが、官吏となってまもなく詩人になるために退職した。しかしこれは言い訳で、本当は同僚との競争から逃げたのだろう。そして最後には虎になってしまうのだが、これも無意識が統合失調症という病気にさせることで、彼を現実から逃れさせたのだ。

かく言う小生も高校時代に成績が振るわず、自殺に憧れたり仙人になりたいなどという空想に逃げ込んだりしていて、クラスメイトとは一切関わろうともしなかった。アホなくせにプライドだけは高かつた。だから、李徵とはレベルは違うが彼の苦しみを我がこととして理解してしまいやすい。

李徵も小生も現実を受け入れられずに足搔きまくっていたのだ。そして、俳優だったWも老化という現実を受け入れられなくて苦しんだのだろうし、ロシアの大統領が、世界中があきれるほどの蛮行に及んでいるのも、現実直視を拒否しているからだ。

かくも、現実を受け入れるというはある種の人たちにとっては難しいことなのだ。同僚より実務能力が劣っていることを受け入れ、それならばもっと努力しようとか、自分のできる範囲で頑張ろうと李徵が思えたなら結果は違っていただろうが、なまじ優秀だった彼はプライドを捨てきれなかったのだ。

過去の栄光にいつまでも引きずられていると、等身大の自分が見えなくなり、理想の自分と現実のそれとの間にギャップを感じ、それを埋めようとして自罰／他罰に走りやすい。現実を俯瞰するとか、距離をとて見るとか、自分を相対化するなどと言うのは簡単だが、自力で泥沼から這い出すのは容易ではない。



「ココロノアリカ」vol.31 『個人のパーソナリティを表す言葉』

宮田 哲郎(水戸南高等学校 定時制同窓会会长)

人それぞれの特徴を表すための言葉っていろいろありますね。『個性』とか『センス』、『感性』、『性格』などなど。いろいろあげていけばキリがないとは思いますが。でも、これって一体なんなんだろう?ってふと疑問に思ったりしたことはありませんか?私はよく思います。そこで今日は、こうした個人のパーソナリティを表す言葉を、少し目に見えるもので例えていきたいと思います。ズバリ、生物が生きるために欠かせないこと。『食事』を例にして表してみたいと思います。

さて、まず登場するのは『主食』です。ごはん、パン、麺類などなど、いろんな主食がありますね。私はこれを『種族』であると考えています。仮に人間が『米』だとします。猫とか犬とか他の生物はパンとか麺類だと考えます。で、米にもいろいろありますね。白米・玄米・十穀米・タイ米……。これが『人種』の違いです。そして白米にもコシヒカリやササニシキなどブランドの違いがあります。これは『国』の違いだとしましょう。

どんどんいきますね。続いて登場するのは『おかず』です。主食によってバリエーションに富んだ種類があります。これを私は『個性』だと考えています。この主食に合う美味しいおかずはどれだろう?それを選ぶことができる能力が人それぞれの『個性』であると捉えます。個性を伸ばす教育とは、美味しいおかずを選び取る能力を培うためのものなんだなあ、なんて考えたりしています。

続いては『調味料、スパイス』です。主食やおかずの味を引き立たせるために必要なプラスアルファ。これが『センス』です。多く使いすぎても味が悪くなる。少なすぎると味が無い。食材との相性もかかわってきます。ここでちょうど良い味わいを表現できると『センスが良い』とされ、うまい味付けができるないと『センスが悪い』とされます。

そして食べ物の嗜好や好き嫌いなどは『性格』ですね。先天的な要素ももちろんありますが、後天的な要素も大きい。その人の人格形成によって生み出されるもの。好きな味、嫌いな味、食感などなど。こうした嗜好の違いが性格であると考えます。

最後に、こんな味付けにしたら美味しいだろう、これを食べたら美味しいだろうと想像できる能力。これが『感性』だと思います。映像で流れる美味しい食事を見て、思わず味を想像して食べたくなってしまったり、逆に実際に食べてみたら想像と違って美味しいなかった、なんてこともあったり。こうした感じる気持ち、想像する気持ちこそが『感性』であると私は思います。

こうやって目に見えるものに例えていくと、いろいろ合点がいく部分があつてどんどん想像が膨らんでしまいます。例えば大好きなアーティストの歌を聴いて良い気分になっている時は、好きな食材に絶妙な味付けをしてもらって、より美味しい食べられて幸せな気分、みたいな感じ。第一印象が良くなくて近寄りがたかった人が、実際に話してみると思ったより大丈夫だったみたいな時は、食わず嫌いをしていた食材を口にしてみたら、案外美味しいことに気付いた。みたいな感じ。大好きな人と結婚しようと思う時は、一生食べ続けたい主食とおかずの組み合わせを発見した、みたいな。子供に変な事を覚えてほしくない、って気持ちは、大好きな食事に変な味付けをされたくない、みたいな感覚。やっぱり生き物には欠かせない『食事』なだけあって、色々と通じるものがありますね。

そう考えていくと、例えばいろんな『差別』みたいなことの根底にあるものって、「私はその食べ物嫌いだから目の前に置いてほしくない」っていうのと同じなのかもしれませんね。もっとエスカレートすると「恐ろしく嫌いだからこの世からなくなってほしい」って気持ちになってしまったり。せめて「自分はこの食材を好きではないから口にはしないけど、好きな人は食べたら良いんじゃない?」ぐらいの、自分にとって異質なもののが存在を許せる程度の広い心でいたいものです。誰の心の中にも、闇の部分はゼロじゃないなあ、って、今回の例えを通して改めて感じた次第です。

とまあ、こんなところで世迷言はお開きにします。目に見えなくてピンとこないものでも、目に見えるものに例えてみると面白いですね(^^)

そして最後に忘れちゃいけない事は、そもそも食材が美味しいなければ料理全体を美味しいするのはとても難しいということ。時々スパイスだけで美味しいしゃう人もいますけどそれは一握りですね。

The anger management is not working.

茨城大学 金丸隆太

強烈な怒りによって、世界中を震撼させる殺人事件が起きてしました。人類はこの過ちを毎日繰り返しています。殺人、テロ、戦争、全ては同じメカニズムで起きています。太古から人間は怒りによる過ちを戒めてきました。名言、格言の類いをいくつか紹介します。

怒りにのまれているときは、しゃべることも動くこともやめるべきだ。

ピタゴラス（ギリシャの数学者、紀元前6世紀）

以下の2つのことについては、人は怒ってはならない。1つはどうにかできること。もう1つはどうにもできないこと。

プラトン（ギリシャの哲学者、紀元前4世紀）

かっとなるのは簡単なことだ。誰にでもできる。しかし、正しい相手に対して、正しい時に、正しい目的で、正しい方法で怒るのは難しいことだ。誰にでもできることではない。

アリストテレス（ギリシャの哲学者、紀元前4世紀）

怒っている人は口は開いているが目は閉じている。

マルクス・ポルキウス・カト・ケンソリウス（ギリシャの政治家、紀元前2世紀）

怒りから議論が始まるが、ちゃんとした議論であった試しはない。

ジョージ・サヴィル（イギリスの政治家、17世紀）

堪忍は無事長久の基、怒りは敵と思え。

徳川家康（江戸幕府を開いた将軍、17世紀）

怒りによって始まつたものはどんなものでも、恥で終わる。

（ベンジャミン・フランクリン、アメリカの政治家、18世紀）

人間は怒りと寂しさの処理で人生を間違える。

加藤諦三（心理学者、20世紀）

勝負に一番影響するのは「怒」の感情だ。

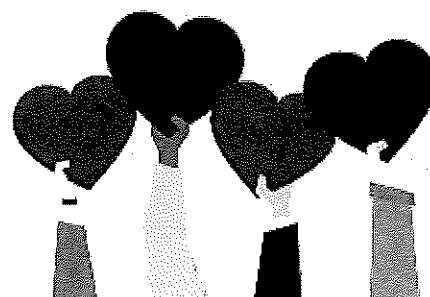
羽生善治（将棋棋士、21世紀）

どれを読んでも、怒りがいかに人を苦しめてきたかがよくわかります。メンタルヘルスの維持においても、怒りのコントロールは重要な課題であり、怒りをうまく制御するためのアンガーマネジメントという方法が世界中で使われています。これは心理教育と訓練が組み合わさったもので、怒りの仕組みを知り、怒りを適切に用いるためのロールプレイやリラクセーション法などを練習します。そしてもうひとつ名言を紹介します。

アンガーマネジメントは上手くいっていない。

バンクシー（イギリスのアーティスト、21世紀）

怒りというのは多くの動物が持っている原始的な感情で、自分を守るために頻繁に用いられます。しかしほとんどの動物が怒りを長時間持続させない一方で、人間は怒りを必要以上に持続させ、不器用に表現してしまいます。世界から悲惨な事件がなくならない現状を見れば、バンクシーの嘆きも最もです。センセーショナルな報道を見る度に、自分の中にもその芽があることを自覚しましょう。



「トイレトレーニング」

ほっと！HOT！スクウェア「イクメン講座」より

大内清志

トイレトレーニング、みんなが通る道なんですが苦労する人多いですよね。

初めてのお子さんの時は不安な気持ちあるんじゃないでしょうか。気になってくるのはいつ始めるかって言うことですよね。周りの話とか先輩の時のこととか聞いたら、「早いほうが良いの?」「早く始めすぎると長引くの?」とかよくわからなくなったりします。トイレトレーニングを始めるのにいい時期っていうのは子どもの発達により違うそうで、ポイントは時間間隔・意思表示・身体的な発達になります。

- ・おしつこの間隔が1時間半くらいあくようになる
- ・トイレに行きたいと意思表示ができる（これは言葉じゃなくても身ぶりや手ぶりで親とコミュニケーションできればOKです。）

・自分でトイレに座れる

年齢的には2歳ぐらいが当てはまる場合が多いですが、個人差が大きいので年齢で区切るのは難しいです。ポイントに当てはまらない場合でも始めちゃダメなわけでもないのであくまでスムーズにいきやすいタイミングなだけです。おむつを外すという意味では0歳のうちに始めた人も知っています。0才でもトイレに座らせるとおしつこをするようにできるんだそうですよ。

それと、寒い時期よりはあったかい時期のほうがやりやすいです。寒いときはトイレ近くになりますし着てるものも脱ぎ着しづらいですからね。

何から始めるかというと。まずは、トイレを知つてもらいましょう。トイレはご飯とか着替えなんかと違つて普段目にしないところなので、子どもにとっては「知らないこと」なのです。まず興味を持つてもらうのが良いです。たとえば、トイレの絵本、アニメ動画などで見ておくのもいいですね。

トイレトレーニング前の子どもにとって、トイレはあまり行ったことのない不慣れな場所です。最初は不安だったり怖かったりします。なので、慣れたお部屋でおまるを使ったトレーニングする方法もありますが、トイレを楽しい空間にするのもおすすめです。キャラクターのポスターや人形を置いてみたり、かわいい飾りつけをしたりして、トイレが楽しいところだと認識してもらいましょう。トイレに行くのを嫌がるときは無理に行かないでちょっと時期を見てもいいんじゃないでしょうか。

次に実際にトイレに行くときは、子どもの排泄の間隔をだいたいつかんでおいて、そろそろかなって時にトイレに誘います。もし、出なくとも残念がらないでください。出たら思いっきりほめてあげましょう。トイレでできたらシールを張るなんてのも効果的ですよ。

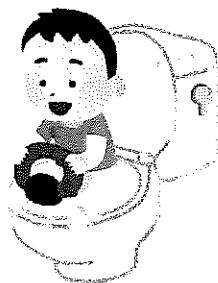
トイレが楽しい所で、トイレですると気持ちいいということを覚えてもらうことが大事です。トイレが嫌な場所になると手こずることになりかねません。

トイレでできるようにならおむつ外します。いきなりパンツにするよりもトレーニングパンツを使用する方が多いと思います。トレーニングパンツもいろいろありますが、大きく分けて紙製のもの、布製のものがあります。吸収力が高く漏れにくい使い捨ての「紙製」、繰り返し使えて便利で意識付けにもなる「布製」どちらがいいのかってことになりますが、私のおすすめは普段は布製、お出かけや寝るときは紙製です。普段に布製をお勧めする理由におむつからステップアップ感があります。布製トレパンを「お姉さんパンツ」「お兄ちゃんパンツ」を呼んでいることがあるんですね。特に女の子はお姉さんパンツに憧れがある子が多いですね。トレパンをはいて、「パンツ汚さないようにトイレ行こうね」というと頑張れたりします。子どもたちにとっても、おむつからパンツになった喜びがあるんですよね。

トイレトレーニングのやり方をお話してきましたがやっぱり子供によっては嫌がったりうまくいかないことのほうが多いわけなんですが、そんな時、いろんな大人が協力したほうが良いと私は思っています。一番やりやすいのはもちろん夫婦で協力してあたるってことですね。子どもの「いやいや」とかって自分の気持ちをわかってくれないことに対してのいらだちだったりするので、対応する人が変わったり状況が変わったりするといったん落ち着くことができたりするんですね。一人が対応してぐずってたらすぐ変わるようになると子どもの気分も変わりますし、対応する大人の負担感やイライラもすごく減ります。こういうことって実はパパの出番が多い分野なんですよ。

おむつが外れるのが早い遅いは個人差ですからね、焦る必要はありません。遅れて困るとしてもおむつ代ぐらいじゃないでしょうか。幼稚園の入園要綱に「オムツがとれているのが望ましい」ってある場合もありますが、「望ましい」ですから、園と相談してみてもいいんじゃないでしょうか。

トレーニングが進まないときは休みを作るのもありだと思います。1, 2か月休みにして改めて再開とかにして、うまくいかないときは子どもだけでなく親も疲れちゃいますからね。



よしこの世界一周大冒険 「何度でも何歳からでも挑戦はできる」 シリーズ

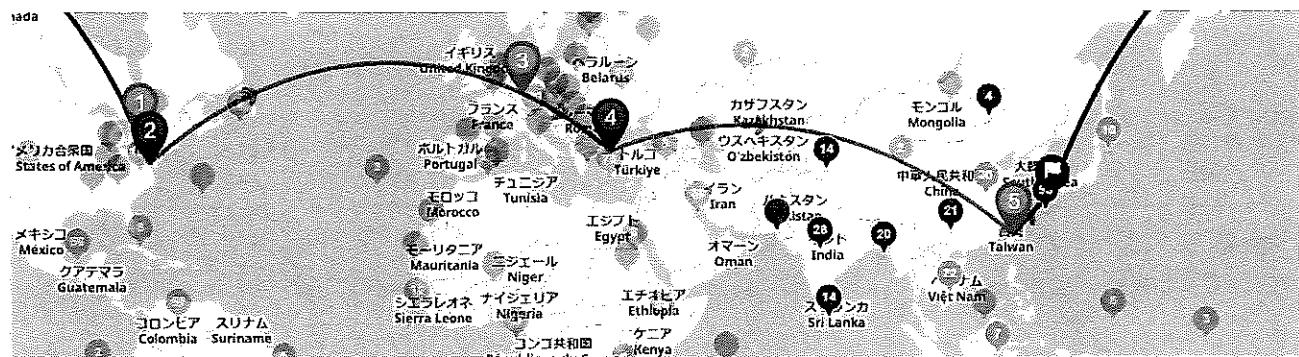
by 杉野美子

オンラインスクール「大人の世界一周アカデミー」校長の杉野美子です。
私は51歳、58歳、61歳で世界一周をしました。

2011年11月から1ヶ月 1回目の世界一周 7か国 エコノミークラス
2018年7月から1年 2回目の世界一周 25ヶ国 ビジネスクラスを0円で
2022年1月から1ヶ月 3回目の世界一周 5ヶ国 ファーストクラスを0円で

そしてついに2022年7月末から3年間の海外プチ移住に旅立ちます。

最初の1年の予定は①カナダ ②アメリカ ③ドイツ（3ヶ月）④トルコのイスタンブール（2ヶ月）⑤台湾からニュージーランドへ（3ヶ月）⑥台湾（3ヶ月）⑦2023年6月24日南米、チリのクスコで執り行われる太陽の祭りに行き3ヶ月住む



●絵本の紹介●

「図書館司書」 すんちゃん

「わにわにのおでかけ」

小風さち／文 山口 マオ／絵

出版：福音館書店

大人気わにわにシリーズです。夏の夜、眠れないわにわにがみんなのあとをついていくと、そこはにぎやかな「夏祭り」会場でした。一見怖そうなわにわにですが、夏祭りを存分に楽しむ姿がとってもかわいらしく愛しい気持ちになります。「ずりずり　づづづ」「ぎーちょ　ぎーちょ」など、声に出して語感も楽しんでください。



「なつのおとずれ」

かがくい ひろし／作・絵

出版：PHP 研究所

カツムリが天気予報で「もうすぐ梅雨明け」を伝え、太陽が動き出すところから物語が始まります。太陽の呼びかけにより、スイカ、メロン、ソフトクリーム、かき氷、セミ、カブトムシ、ひまわり、扇風機・・・ぞくぞくと夏の風物詩たちが夏に向かって走っていきます。疾走感があり、読後が爽やかな一冊です。ユーモアたっぷりで、読み聞かせにもオススメです。



「なつのいちは」

はたこうしろう

出版：偕成社

夏をまるごと味わってほしい、そんな一冊です。音、匂い、陽射しや風まで感じ、絵本から夏があふれだしてます。内容は少年がひとりで虫取りに挑戦する様子が描かれたシンプルなものです。短い文章で読みやすく、何より絵の臨場感に引き込まれます。こどもたちは夏のワクワクを体感し、大人たちは「あの夏」の記憶にグッときます。ぜひご家族みなさんで楽しんでください！



●よみきかせグループ●

ガブの会

読み聞かせグループ「ガブの会」は毎月読み聞かせ会を開催しています。

年齢に合わせた本や紙芝居などを選び、絵本好きなメンバーが楽しく読んでいます。

時々パネルシアターなども・・・参加費は無料です



●第1・第5土曜日 14:00~14:30

水戸市東部図書館 2F 視聴覚室

(水戸市元吉田町 1973-27)

●第3土曜日 14:00~14:30

水戸市見和図書館 視聴覚室

(水戸市見和 2-500-2)

毎月の活動 (その他 文化創造体験活動、自主活動なども開催しています)

*変更や中止になる場合もありますのでお問い合わせ下さい。

<p>おもちゃ貸し出し</p> <p>エルマークラフ 対象：幼児の親子 *申込制</p> <p>毎週水曜日、第1・3金曜日</p> <p>水戸こどもの劇場事務所 (各時間1組限定) 参加費：無料 ① 11:00～11:45 ② 12:00～12:45 ③ 13:00～13:45</p> <p>○お申し込みは HP→申し込みフォーム、またはお電話で！事務局 029-255-0908 *おもちゃの貸し出しあり（貸し出しありは、要会員登録か会員外1回300円）</p>	<p>多世代交流</p> <p>たまり場「はやま庵」 *申込制</p> <p>① 毎週月曜日 10:00～12:30 無料 水戸市老人福祉センター葉山荘内和室 1日あたり5組10名程度 ○お申し込みは葉山荘まで 029-243-5508</p> <p>*お休みすることもあります。 現在開催中かどうかについて は、お問い合わせ下さい。</p> 
<p>ガレッジセール *申込制</p> <p>月1回程度 主に火曜日(時々土日) 11時～14時 水戸こどもの劇場事務所となりトレーラーハウス 子ども服や雑貨日用品などをご覧下さい。 *日程についてはお問い合わせ下さい。</p>	<p>ガズの会 毎月読み聞かせ会をしています。 東部図書館 2F 第1・5土曜日 14時～14時半 見和図書館 第3土曜日 14時～14時半 参加費：無料</p>
<p>comodo (コモド) 対象：大人 *申込制</p> <p>月2回程度 10時～12時 オンラインの場合あり 子どもに、子育てに、不安を抱えている家族のサロン 水戸市福祉ボランティア会館(ミオス2F) ○お申し込みは HP→申し込みフォーム、またはお電話で！事務局 029-255-0908</p>	<p>みとぴよ音楽隊♪ ファミリープラスバンド 毎月5回程度 9時半～12時(対象：大人 子連れOK) 楽器の演奏を楽しんでいます。 依頼演奏もお受けしています！ 参加費：要活動会員登録(年3千円) 初回1000円・毎回200円 *練習場所等についてはお問い合わせください。</p>
<p>多胎児サークルかるがも *申込制</p> <p>双子ちゃん三つ子ちゃんを持つ親子のサロン 限定4組 月1回金曜日 10時～12時 オンラインの場合あり 水戸市福祉ボランティア会館(ミオス2F) ○お申し込みは HP→申し込みフォーム、またはお電話で！事務局 029-255-0908</p>	<p>ウクレレ&ギターサークル♪「ピコ」 対象：大人 場所：事務所 毎月1回 10時半～14時(子連れOK) ゆる～くウクレレやギターを楽しむ会です！ 参加費：会員無料、会員外1回300円 *見学できます、気軽に問い合わせください。</p>
<p>ぽかぽかつどいの広場 (水戸市受託事業)</p> <p>毎週火・水・木・金・土 10:00～15:30 (日・月・祝日閉館) 12:30～13:30は消毒清掃のため閉所いたします。 場所：水戸市福祉ボランティア会館(ミオス2F) 未就学児の親子を対象に、交流の場を提供しています。 毎月講座開催中！参加費：無料 ○お申し込みは、ぽかぽかつどいの広場 090-8348-5375まで</p>	<p>*申込制 (1週間前より受付)</p> <p>午前の部 10:30～12:30 午後の部 13:30～15:30 各回先着8名まで</p>
<p>moso カフェ 対象：大人</p> <p>月1回程度 10時半～14時 ウクレレなんかも♪ 事務所となりトレーラーハウスにて ゆったりまったり自由に過ごすゆる～い会です。 0円の処分品やバザー品もあります。</p>	<p>遠足くらぶ *申込制 対象：子ども～大人</p> <p>毎月1回 山のぼり、釣り、サイクリング、果物狩りなど、 いろんなことをみんなで体験しています。 参加費：会員無料、会員外1回300円(その他実費) 詳しくはホームページからお問合せください。</p>
<p>室内ゲームの会「On the table」 対象：小1～大人</p> <p>毎月1回、土曜か日曜(不定期) 10時～15時 水戸こどもの劇場事務所で、カードゲームやボードゲームで楽しく遊びます。 参加費：無料 出入り自由</p>	<p>ほっと！HOT！スクウェア ファミリー情報番組</p> <p>毎週土曜日 15時～16時 毎週火曜日(再) スタッフはみんなお父さんお母さん、生活の中で気づいた疑問、得た情報を放送中です！ ラジオFMばるるん 76.2MHz 放送中！ *スポンサーも募集中！</p>

●訪問型病児保育“ぶちぶり”のご案内●

対象：水戸市居住の生後6ヶ月～小学生までのお子さん

実施場所：水戸市内の利用する児童の自宅

利用時間：原則として8時～20時まで



水戸市受託事業として水戸こどもの劇場が実施しています。

病気のお子さんを、研修を受けたスタッフが登録のあったご家庭に伺って見守ります。

事前登録、医師連絡票が必要です。

その他詳細は、水戸こどもの劇場ホームページをご覧ください。



*登録会を開催しています。(要予約)

(お問合せ) TEL029-255-0908

会員募集中！

入会は、子どもから大人まで。

正会員	入会金	500円
	月会費	1,000円
活動会員	年会費	3,000円
ボランティア登録会員	(大人のみ)	学生無料
	年会費	1,000円
賛助会員	一口	5,000円～

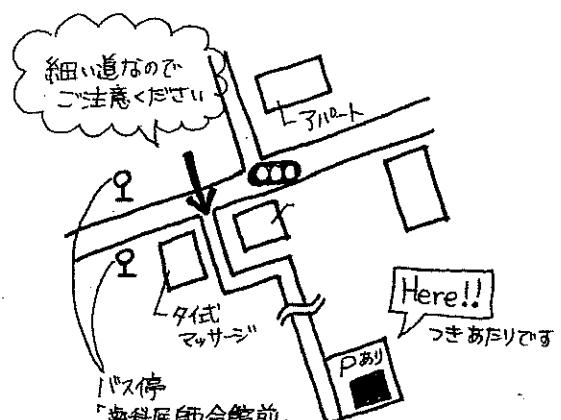
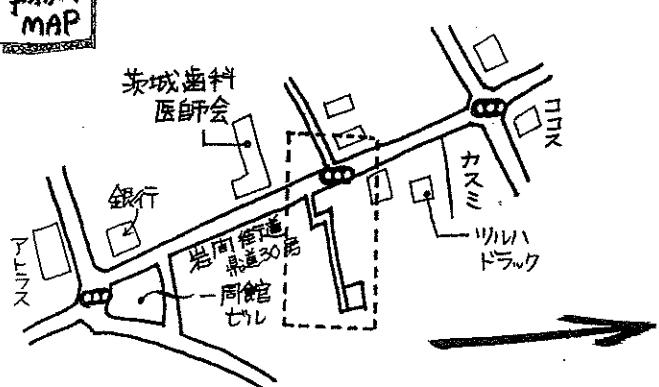
* 賛助会費は寄附扱いになります。

<賛助会員の皆さん>

石川クリニック様、水戸吉沢小児科クリニック様、河和田幼稚園様、サンライフ・サンフーズ様、モダンデンタル中庭歯科医院様、雨宮則子様、井上多加志様、井上瑞穂様、岩田みなみ様、内桶純子様、加藤智明様、河原井忠男様、杉野美子様、柳橋剛様、田中光彦様、中根一昭様、野口祥子様、袴塚雅彦様、仲根泰子様、大倉美紀様、岩熊玲央奈様、久下沼洋子様、砂川光造様

(順不同・6月末現在)

事務所 MAP



・カスミ側から1つ目の信号を左折です。

・駐車場あります(台数に限りあります)

<住所：水戸市見川2-82-11>

◆寄附のお願い◆

私たちの活動は、会員の会費や助成金、行政からの委託などの事業収入、ボランティアスタッフの奉仕によって実施されています。

全ての子どもたちが尊重され、この地に生まれてよかったと思える環境を私たち大人が創ることが豊かな未来を育てます。未来を育てる活動をご支援ください！

認定NPO法人への寄附は、確定申告をすると税金の還付が受けられます。

ぜひ応援よろしくお願ひいたします。

＜お振込先＞

- ・郵便振替 00300-8-1833 水戸子どもの劇場
- ・常陽銀行 見和支店 普通 1261264

◆賛助会員募集中◆

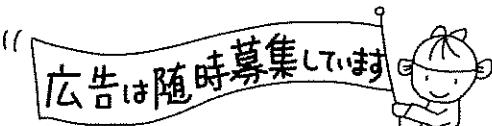
賛助会費も寄附扱いになります。1口 5,000円～
ぜひご協力をお願いいたします。

～広告も募集しています～

「子どもの時間」年3回発行 10,000円（年）



＜広告＞



カイロプラクティックで健康UP!

～ご予約お待ちしています～

石岡市 南台カイロプラクティック

真家智子 電話：0299-27-1028

携帯：090-6134-5835

●施術料：5,000円

(初回7,000円はこの広告で2,000円割引です)



*カイロは体のゆがみを治して、本来持っている自然治癒力を高める療法です。肩・腰・膝などの痛み、しびれや姿勢が改善して、体が楽になったと喜ばれています。

中古車購入 衝撃のシステム

- 毎週10万台以上のオークション出品車両から、お気に入りのクルマをお選びいただけます。
- オークション出品車両を直営買い付け、お客様にお届けしますので、中間マージンの大幅カットによりとにかく安い！
- 出品票・評価点オープンで価格な品異チェックにより、安心してクルマをお選びいただけます。
- 1年間無料ロードサービス付き

お気軽にお遊びに来てくださいね。
スタッフ一同、心よりお待ちしております。

お問い合わせはフリーダイヤル 0120-977-880
中古車情報館 スーパーオークション水戸河和田店
水戸市河原町3035-14 営業時間 10:00～20:00 定休日 月曜

吉田石油



50号バイパス・岩間街道交差点内

●編集後記●

・特集にもありますが、不登校の子がたくさんいるようです。人それぞれ持っているものが違うのに同じ計りで測り、得意なことが伸ばせない、そんな今の教育が間違っているんじゃないかと個人的には思います。幼児期に体を使って充分に遊び、親に愛され、遊びの中から得意なことやりたい事が見つかっていく、そんな風に子育てが出来たら。でも、子育て中のお母さんも初心者、いっぱいいっぱいなんですね。周りの人にもっと頼っていいんだと思います。頼れる大人になれなくても、寄り添える人になれたらいいな。(H)

・私の娘は中学生の時に不登校の時期があり、元気をなくしていた事もありました。今は通信制高校でのびのび楽しんでいます。「普通がいい、周りとおなじがいい」という考えが多くあります、私自身もそうだったりもしました。でも選択肢が色々あることや色んな道があるんだよ、自分で選んでいいんだよ、ありのままでいいんだよ、という考えが広がっていくといいなと思います(N)